

泌尿器科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 尿道下裂症例の思春期以降における性腺機能・造精機能の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 守屋 仁彦（泌尿器科・准教授）

[研究の目的] 尿道下裂で治療を受け思春期を迎えた患者さんの、精巣機能障害や精子形成障害の頻度と尿道下裂の重症度や停留精巣の合併の有無などとの関連について調べることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2004年3月1日以降に北海道大学病院泌尿器科に通院又は入院した尿道下裂の患者さん

○利用するカルテ情報

- ①研究対象者基本情報：出生時体重、治療内容、合併症、性腺機能評価時年齢、性腺機能評価時 Tanner 分類、性腺機能評価時身長・体重、染色体検査
- ②内分泌学的所見：LH、FSH、テストステロン、エストラジオール
- ③尿道下裂の重症度
- ④停留精巣合併の有無

[研究実施期間] 実施許可日～2025年3月31日

（観察期間：実施許可日～2024年12月31日、解析期間：2025年1月1日～2025年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 守屋 仁彦

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7853